

「南海地震に備えよう！」 啓発ポスター・標語コンクール

高知県で行われた「南海地震に備えよう！」啓発ポスター・標語コンクールで、黒潮町の5人が受賞し、表彰式が行われました。

このコンクールは、子どもたちの防災に対する意識の向上を目的として、県内の小中学校および特別支援学校の児童を対象に「南海トラフ地震への備え」をテーマに、ポスター・標語を募集し開催しています。

受賞作品

【標語部門】

〈小学校低学年の部〉

●優秀賞

ひとりでも おとなをまたず
にげようね

佐賀小学校1年 川崎 麻白

●佳作

おほえよう 自分を守る
ひなん場所

上川口小学校3年 武田 麻耶

○お問い合わせ 【本庁】情報防災課 消防防災係 ☎43-2188(課直通)

〈特別支援学級及び支援学校の部〉

●佳作

つなみのあと 水がひいても
まだちゅうい

佐賀小学校2年 荻野 優太

【ポスター部門】

〈小学校高学年の部〉

●佳作



田ノ口小学校4年 山下 夏輝



南郷小学校4年 村上 陽花

地域防災サポーター

養成講座を開催

災害や防災対策について一定の知識と技術を持った人材を育成することを目的に開催している『地域の防災サポーター養成講座』が、昨年12月10日から全3講座行われ、今年度は5人が全過程を修了し、地域防災サポーターとして町の認定を受けました。

第1講座では、高知地方気象台の榎本防災気象官と山内地震津波防災官を講師に迎え、南海トラフ地震の仕組みや、日頃起こりやすい台風、大雨といった風水害などについての講義を行いました。

第2講座は、普通救命講習として、黒潮消防署員から救命に関する知識と技能を身に付け行動できるように、心肺蘇生法とAEDの操作について学びました。

また、第3講座では、兵庫県淡路島の淡路市で、阪神・淡路大震災を実際に経験した野島断層保存館・副館長の米山正幸さんが講師を務めました。被災した直後の災害活動や、日頃の地域の繋がりの

大切さなど、今後の備えについて話を聞きました。また、実技講習として、日本防災士会高知支部の土居清彦さんから、搬送方法やロープワーク、身の回りにある物の利用法など実践的な技術を学びました。

南海トラフ地震では、様々な被害が予想されますが、一人ひとりの備えが大きな効果を生み、備える人が増えることで安心して暮らせる地域社会となります。

今後も同講座の開催を予定していますので、今回参加できなかった人も次の機会に参加し、災害に強いまちづくりを一緒に目指しましょう。



心肺蘇生法を学びました

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係 ☎55-3113(直通)